

図書館だより

平成 30 年 1 月号 NO. 339
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451



新年明けましておめでとうございます。

早いもので新図書館開館から 1 年 7 ヶ月が経過しました。お陰さまを持ちまして、入館者数、貸出冊数共に昨年度を上回るペースできております。図書館をご利用くださっている皆様に改めてお礼申し上げます。

さて、図書館ではさまざまなイベントを実施しております。毎月最終水曜日に行っている「ぽっぽのお話し会」のほかにも、英語のお話し会やエプロンシアター、職員のお話し会などを行っております。

ほかにもバードウォッチング、DVD 上映会、野菜づくり講座、「♪鳥くん講演会」などを行っておりますので、ぜひ日時を確認の上ご参加ください。ちなみに 1 月 25 日に野菜づくり講座を、2 月 4 日にバードウォッチングを行います。

また、磯原郷英高校との協働も行っており、現在「作品展」を実施しております。1 月 10 日までの展示となりますので、お見逃しなく。さらに 1 月 27 日にはハンドベルの演奏もあります。

今後、ますますイベントを充実させて参りますので、楽しみにしていただきたいと思います。

by チーピン



《 図書館カレンダー 》

印は、休館です。

2018 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			



★ 開館時間 ★
午前 9 時 30 分～午後 6 時





YABOOK ご紹介



『 WONDER 』

児童書 933パラ

R. J. パラシオ // 作 中井 はるの // 訳 ほるぷ出版

『 もうひとつの WONDER 』

児童書 933パ Y

2016年度課題図書にも選ばれた『WONDER』
生まれつき顔に障害があるオーガスト。通称オギー。10歳ではじめて一般の小学校に通うようになったが、生徒たちは彼の顔を見て悲鳴を上げ、じろじろ眺め、やがて避けるようになる。オギーはその中で家族や先生、親友たちと信頼関係を築く。

そして『もうひとつのWONDER』。『WONDER』で描かれなかったオギーを取り巻く子供たちの3つのストーリー。この本では、オギーは脇役。オギーとの出会いによって3人の子供たちがそれぞれどのような影響を受け、変化していったかが描かれています。

☆『WONDER』を読んだ方はぜひ『もうひとつのWONDER』も読んで下さい。

by ドラ



明けまして おめでとうございます。

2018年(平成30年)戌年のスタートですね。皆さまはどんな新年を迎えられたでしょうか？
図書館では職員一同元気に、新しい年のスタートができました。昨年は、新しい図書館のためさまざまな職種の方々が遠方より見学に来館されました。また、図書館での講座やイベントなどにもたくさんの方に参加いただき充実した1年だったと思います。本年も図書館は、「みんなが集う、暮らしに生きる市民の図書館」ということで職員一同頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

私は毎年、元旦の朝は近くの海岸まで「初日の出」を見に行きます。眠い目をこすりながら家をでますが、海岸に着くと冷たい空気と海風ですっかり目が覚めます。水平線から太陽が顔を出す瞬間は、なんともいえないパワーと暖かさを感じます。

太陽の神はアマテラスです。そこで図書館にある、日本の神話古事記えほんを紹介します。

「天の岩屋—アマテラスとスサノオ—」

E二 監修 / 三浦 佑之 文 / 萩原 規子 絵 / 大畑 いくの 小学館

父神から追放された嵐の神スサノオは太陽の神アマテラスのもとを目指します。その後、スサノオはアマテラスを困らせますます悪くなっていきます。それを見たアマテラスは恐れおののき天の岩屋閉じこもってしまい、地上の国が深い闇につつまれてしまいます。絵本ですが大人の方が読んで楽しめます。



by チッピー

★ 毎月、新刊の中から職員お薦めの本を紹介しています。

◇ 幻の惑星ヴァルカン アインシュタインはいかにして惑星を破壊したのか ◇ 一般書 440レ トマス・レヴェンソン // 著 小林 由香利 // 訳 亜紀書房

宇宙を旅している数えきれないほどの天体。それらすべては重力を影響し合って今の軌道でバランスをとっている一かの有名なニュートン力学の理論です。

時は19世紀末、水星の軌道に奇妙な“ずれ”が観測され、その要因としてまだ発見されていない幻の惑星“ヴァルカン”があるのではないかと考えた人物がいました。天才科学者・ルヴェリエ、海王星を予測したその人です。ヴァルカンを捕獲せよ—プロ・アマ問わず躍起となった天文学者たちの苦悩の末は—？相対性理論でアインシュタインはどんな決着をつけたのか—。科学の進歩が感じられます。

☆翻訳された小林さんに脱帽です！

by リリー



◇ 納豆読本 ◇

一般書 619+ 梶持 裕典 // 編 春日出版



日本の食卓には必ずと言って良いほど並ぶ納豆。近頃は食す機会が減ってしまった私ですが、もう一度『納豆』を紐解いてみました。その本がこちらの『納豆読本』。私が、特に幼い頃から目にしてきた納豆や口にしてきた納豆の数々。20のメーカーから94の納豆商品が紹介されています。また、納豆で作るレシピやCMでも有名な某企業製納豆の誕生秘話、全国のお墨付き納豆の歴代タイトル図鑑、さらには、納豆セクションや納豆お菓子まで、納豆談満載です！茨城県は納豆王国。私は、納豆の未知数に驚かされました！

by 奏

◇ 学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで ◇ 一般書 912.7オ 岡田 磨里 // 著 文藝春秋

「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や「心が叫びたがってるんだ。」などのアニメ作品で知られる脚本家の岡田磨里さんの自伝です。

彼女はこの本の中で、2つの作品の舞台である埼玉県の秩父が自分の生まれ育った場所であること、そして、小学校高学年から高校まで学校へ行けなかった時期があったことを明かしています。高校卒業後に秩父を離れ上京、どのようにして脚本家となったのかが綴られています。

by みーやん



◇ 蟹座 ジュニア版 他 11 星座 ◇
児童書 148 イ 石井 ゆかい // 著 WAVE 出版

— ” みなさんは、占いを信じますか？ ”

『石井ゆかきの12星座シリーズ』を子ども向けに書き下ろした一冊。星座ごとに、長所や行動パターンなどがゆたかな言葉で表現されています。児童書ともあってたいへんわかりやすく、星座の偉人・神話なども紹介されています。親子で読んでみるのもおすすめです。家族や友人のちょっぴり深い部分を知れるかも…★

by Mo_7



◇ 図書館を心から愛した男 アンドリュー・カーネギー物語 ◇
児童書 Eトシ アンドリュー・ラーセン // 文 カティ・マレー // 絵 六耀社



アンドリュー・カーネギーは、1835年にスコットランドに生まれ、まずしい移民の子として、12歳の時にアメリカにわたります

そして、世界でもっとも裕福な人たちのひとりになりました。ニューヨークにある「カーネギー・ホール」は皆さんも知ってるでしょう？ この本は、どうやって大金持ちになったのか、という本ではありません。

自分では必要としない、ありあまるほどの大金を手にした彼はどうしたのでしょうか？ ぜひ図書館で読んでみてくださいね。 by 雲

おはなし会のお知らせ

☆ 参加自由・無料

場所：1階おはなし室 ☆

★ エプロンシアター ★

1月10日(水) 午前10時～10時30分

★ 図書館おはなし会 ★

1月17日(水) 午前10時～10時30分

★ メリアンさんのおはなし会 ★

1月21日(日) 午前10時～10時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

1月24日(水) 午前10時～11時



第6回 図書館バードウォッチングの会

★ 2月4日(日) 午前10時～正午 ★

ウォーキングロードと図書館屋上で行います。雨天時は、2階ひだまり交流テラスで行います。

お申し込みは不要です。当日、図書館までお越しください。時間内途中参加OKです。

